

# 「貯蓄から投資へ」いつから？

初めて使われたのは

2001年6月

小泉政権のとき！

NISA開始＝

2014年1月

NISA開始10周年！

# 日本とアメリカの投資比率の比較

日本

アメリカ

現金・預金  
の比率

54.2%

12.6%

株式・投信  
の比率

15.4%

51.3%

# 日本とアメリカの金融資産の伸びの比較

日本

アメリカ

家計金融資産の伸び

うち運用リターン

1.5倍

1.1倍

2000年末

2023年9月末

家計金融資産の伸び

うち運用リターン

3.2倍

2.2倍

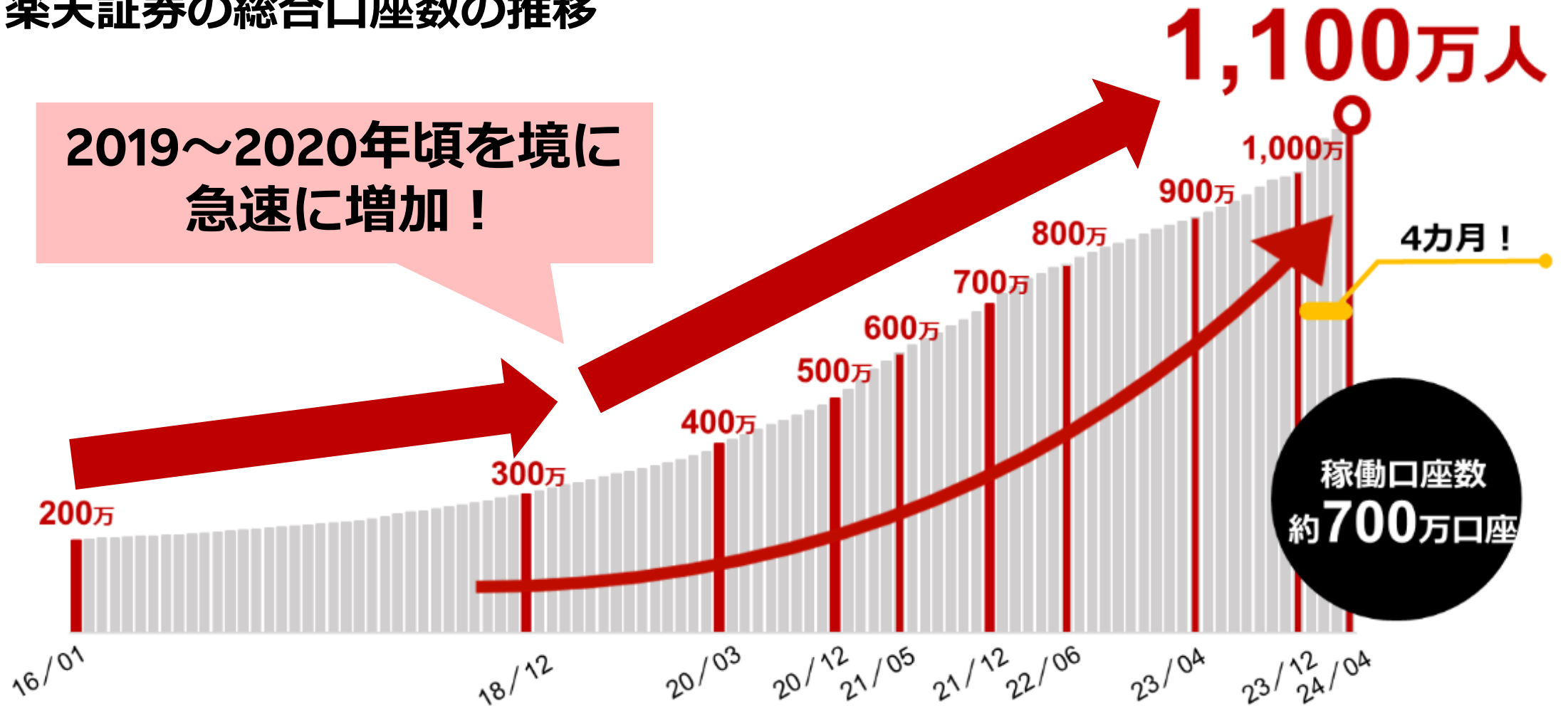
2000年末

2023年9月末

# 証券口座数の推移から見る世の中の流れ

## ■ 楽天証券の総合口座数の推移

2019~2020年頃を境に  
急速に増加！



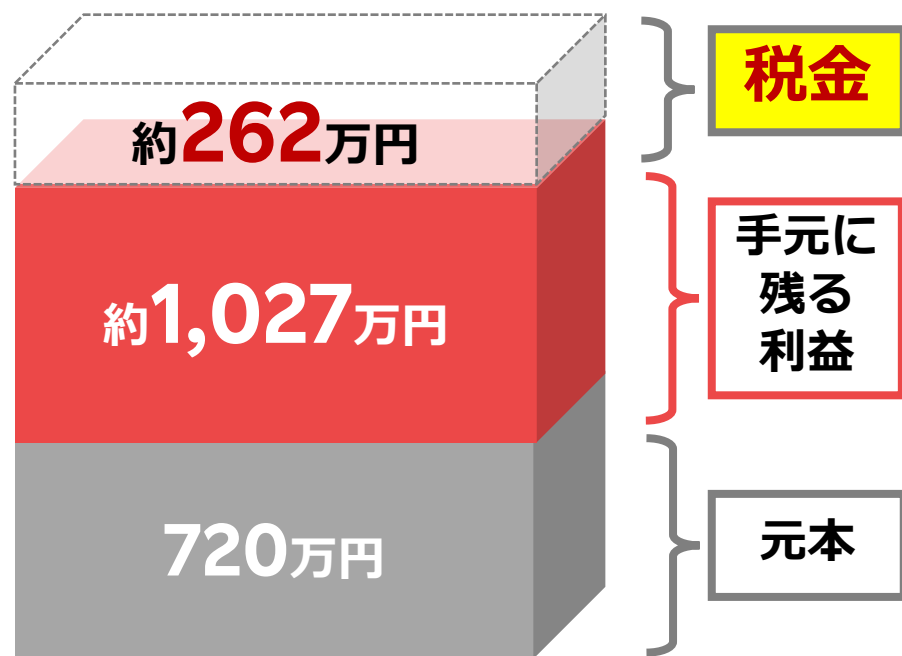
NISAについて  
おさらば！

# NISAは投資で得た利益が非課税になる制度

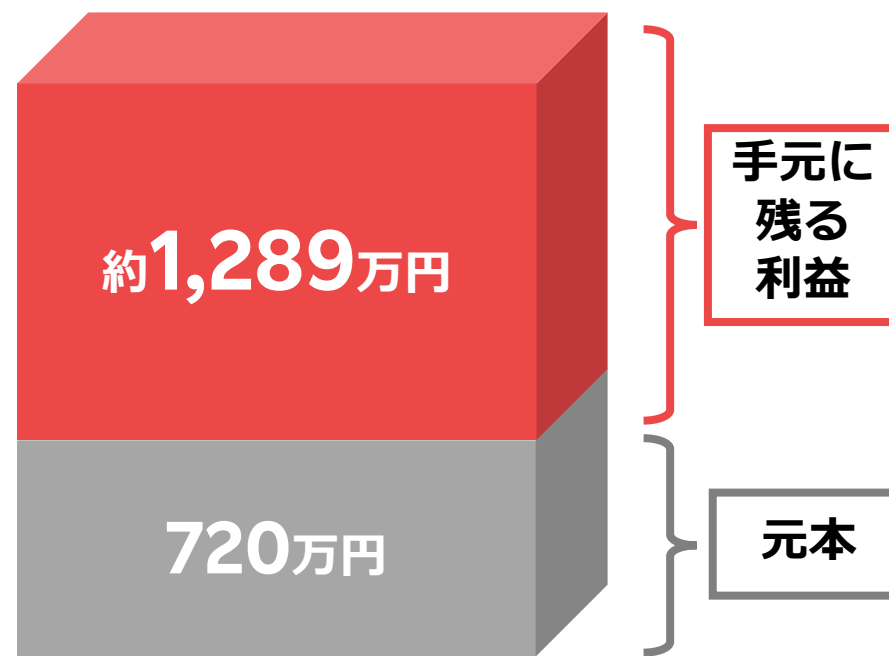
投資で得られた利益は通常**20.315%**の税金がかかりますが、NISAなら非課税に。

【非課税のイメージ】 30年間毎月2万円をリターン6%で積立投資した場合のシミュレーション

通常の口座（特定口座・一般口座）



NISA口座なら...



※当該数値はあくまでもシミュレーションであり、将来の成果を約束するものではありません。

# 合計1800万円まで非課税で投資が可能

年間**360万円**まで、生涯で合計**1800万円**までが非課税投資枠となります。

	つみたて投資枠	成長投資枠
非課税 期限	無制限	
年間投資 枠	120万円	240万円
非課税保 有限度額 (総枠)	1,800万円	うち1,200万円

# NISAの基本の 始めかた



# NISA口座を開いただけでは資産は増えない！

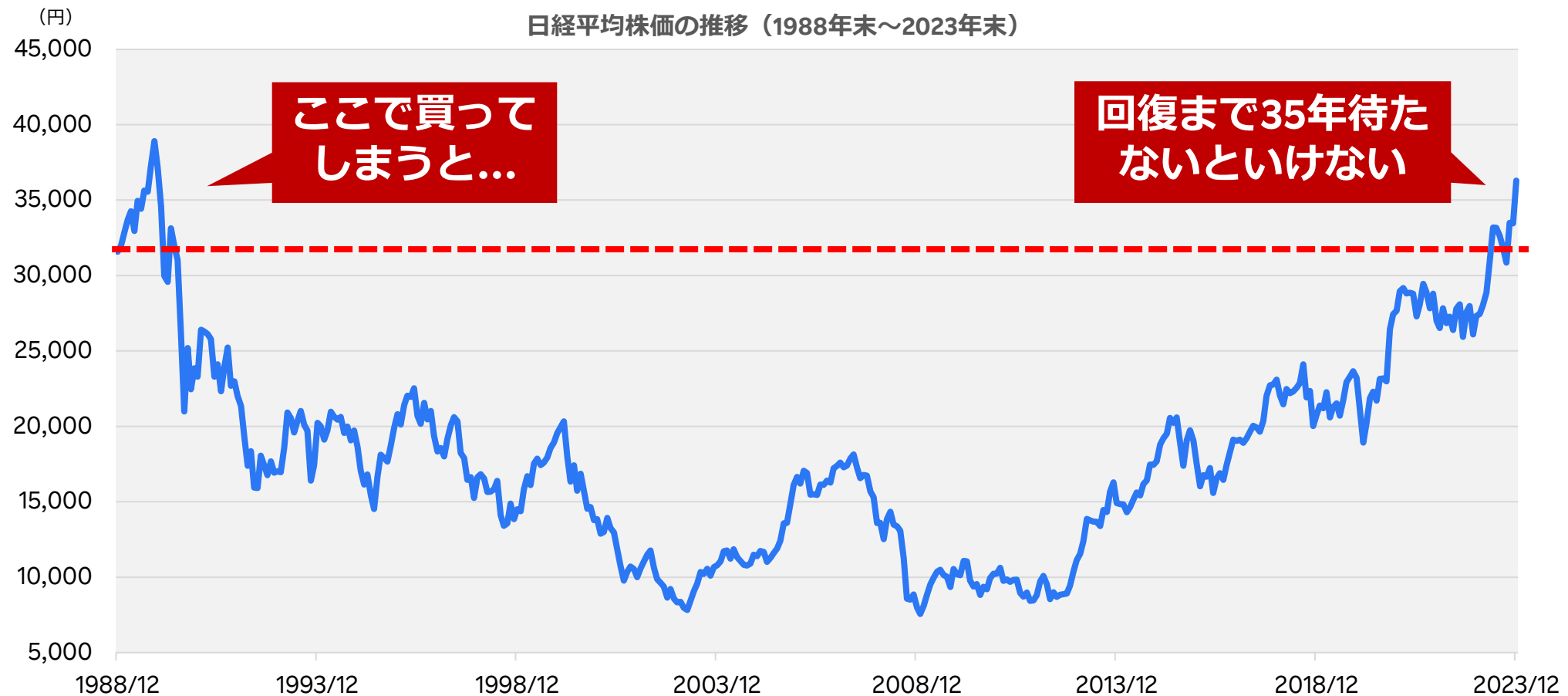
NISAの枠の中で「何を・いくら・どうやって買うか？」を考える必要があります

	<b>つみたて投資枠</b>	<b>成長投資枠</b>
<b>投資方法</b>	積立投資のみ	積立投資・一括投資 どちらも利用可能
<b>対象商品</b>	一定の条件を満たした 投資信託 ※旧つみたてNISAと同じ	・国内株式 国内ETF・REIT ・外国株式 海外ETF ・投資信託（一部対象外）

# 過去何をやっていればプラスになっていた？

## 【過去35年間の日経平均株価の値動き】

- ・ 日経平均株価は上昇・下落の波を繰り返しながら、ようやく今年2月に最高値を更新しました。
- ・ もし1988年末に一括で購入していた場合、35年投資を続けてようやくマイナスが解消された状況。



# 過去何をやっていればプラスになっていた？

## 【積立だとどうなる？】

- 積立なら、購入タイミングの分散により「下がった時にたくさん買う」が自動的に実践できます。
- これにより、元の株価は35年前と同水準にも関わらず、積立投資を続けた結果は大きなプラスに！



# 過去何をやっていればプラスになっていた？

## 【さらに、世界に目を向けると？】

- 過去の同じ期間でも、日経平均株価とS&P500の値動きは大きく異なります。
- 同じ1988年末に100万円で購入していたら、日経平均はほぼ横ばいですが、米国株式は16倍に。



# 過去何をやっていればプラスになっていた？

## 【さらに、世界に目を向けると？】

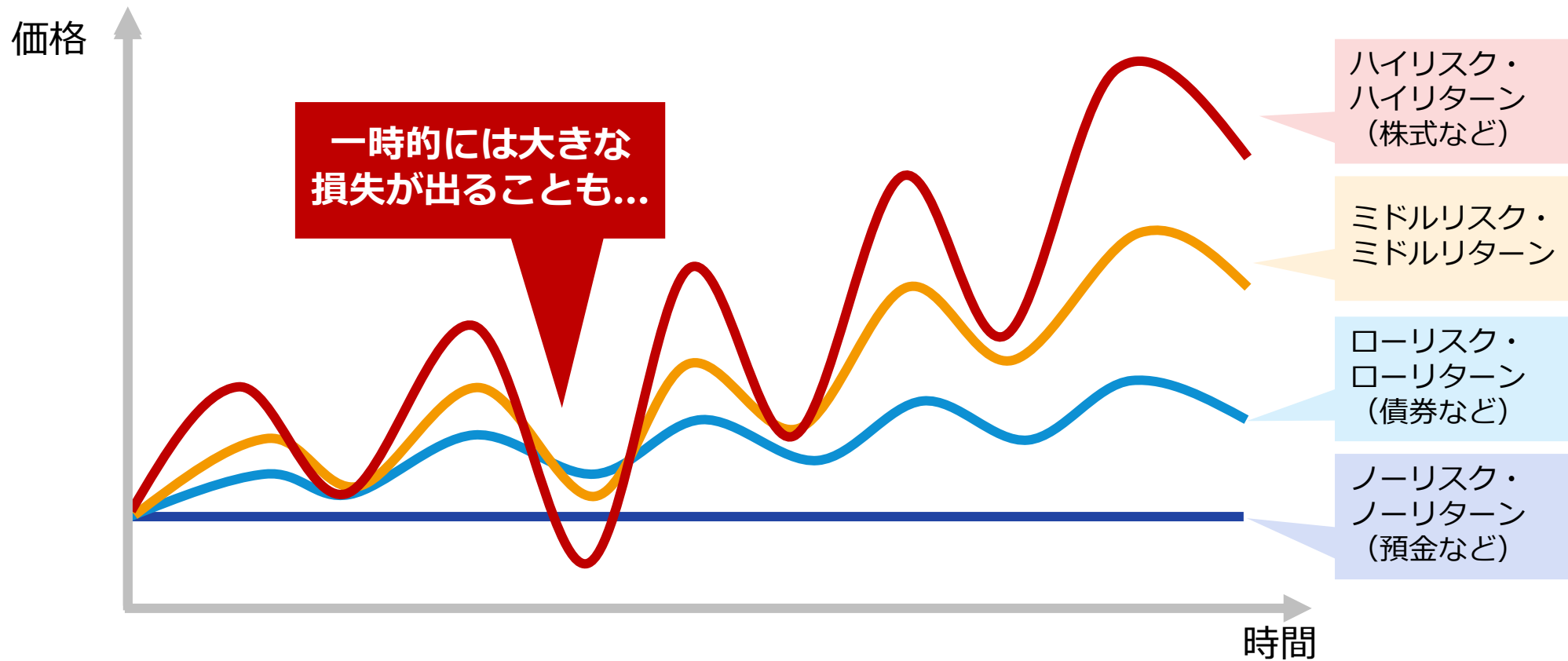
- 積立なら、日本株式でもプラスにはなりましたが、米国株式ではさらにプラスが大きくなる結果に。
- 世界全体の成長をとらえるためには、米国など海外にも投資の網を広げておくことが重要です。



# もちろん投資は無リスクではない！

投資の世界では「ハイリスク・ハイリターン」「ローリスク・ローリターン」が成り立ちます。株式ファンドは、高いリターンを狙える一方で、値動きも大きいことに注意が必要です。

## 値動きのイメージ



# 下落に耐えられるか？が重要

米国株式で積立の場合、最終的には大きく増えているものの、途中では大幅な下落も。  
**下落が怖くなってやめてしまうのが一番の失敗の原因！**長くコツコツ続けることが最も重要です。



※当該数値はあくまでもシミュレーションであり、将来の成果を約束するものではありません。

(出所) 当社が信頼できると判断したデータをもとに楽天証券作成

# 長期・積立・分散が王道！

## 当てに行く投資

収益の源泉：  
相場の上げ下げ・タイミング

必要なこと：  
マーケットや経済指標を見続ける時間・  
チャート分析などのテクニック

当たり外れに大きく左右される

プロでも難しい...

## 当てに行かない投資

収益の源泉：  
長期的な世界の成長

必要なこと：  
長期積立を続けるだけ

当たり外れに左右されにくい

誰でも実践できる!!

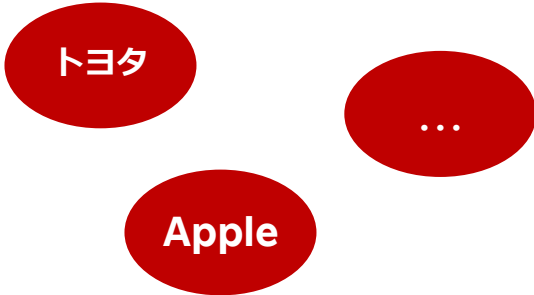
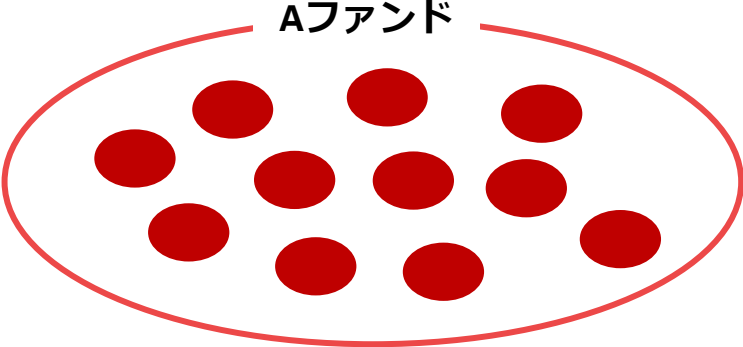


結局

何を買えばいい？

# 少額で分散投資できる投資信託からがお勧め

NISAの成長投資枠では、投資信託だけでなく国内や外国の個別株も購入可能。  
投資初心者の方には、つみたて投資枠で少額から積立できる投資信託がおすすめ！

	株式投資	投資信託
イメージ		
最低投資金額	数万円～500万円以上も	100円～（楽天証券の場合）
銘柄選定	自分で行う	プロにお任せ
メリット	自分で好きな銘柄を選んでより高いリターンを狙うことができる	ひとつの商品を買うだけで数十～数百の銘柄に分散が出来る

# 投資信託はカテゴリーに分けることができる

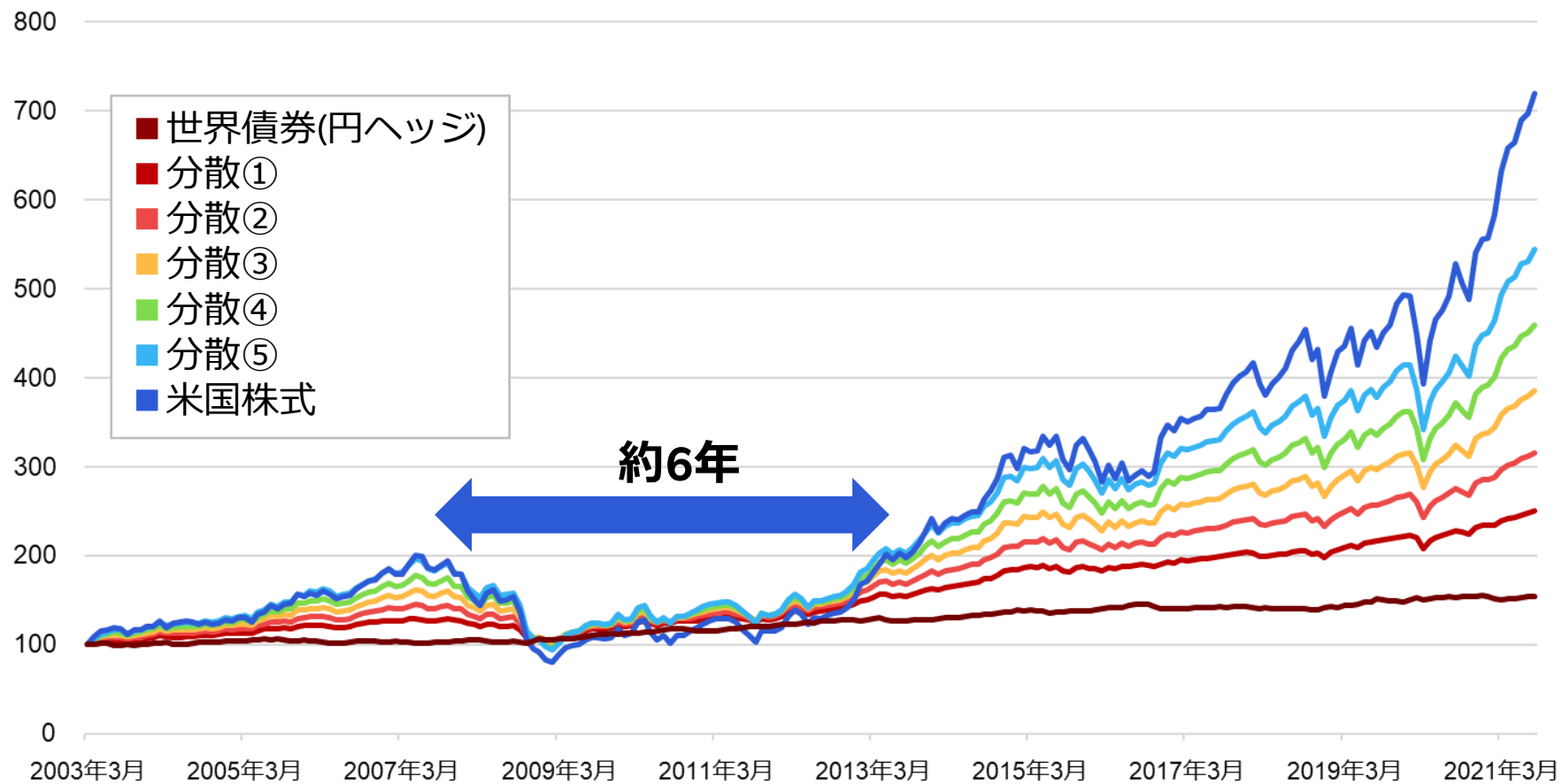
投資信託の数は多くありますが、投資資産や地域ごとにカテゴリーに分けることができます。どの資産を選ぶかによって、大きくリスク・リターンが異なります。

	日本	先進国	新興国
株式	日本株式	先進国株式・ 単一国の株式(米国等)	新興国株式・ 単一国の株式(インド等)
	全世界株式		
債券	日本債券	先進国債券	新興国債券
リート	日本リート	先進国リート	新興国リート
バランス	ひとつの商品で株式／債券、海外／国内など複数資産・地域に投資		

# どうやって投資するカテゴリーを決める？

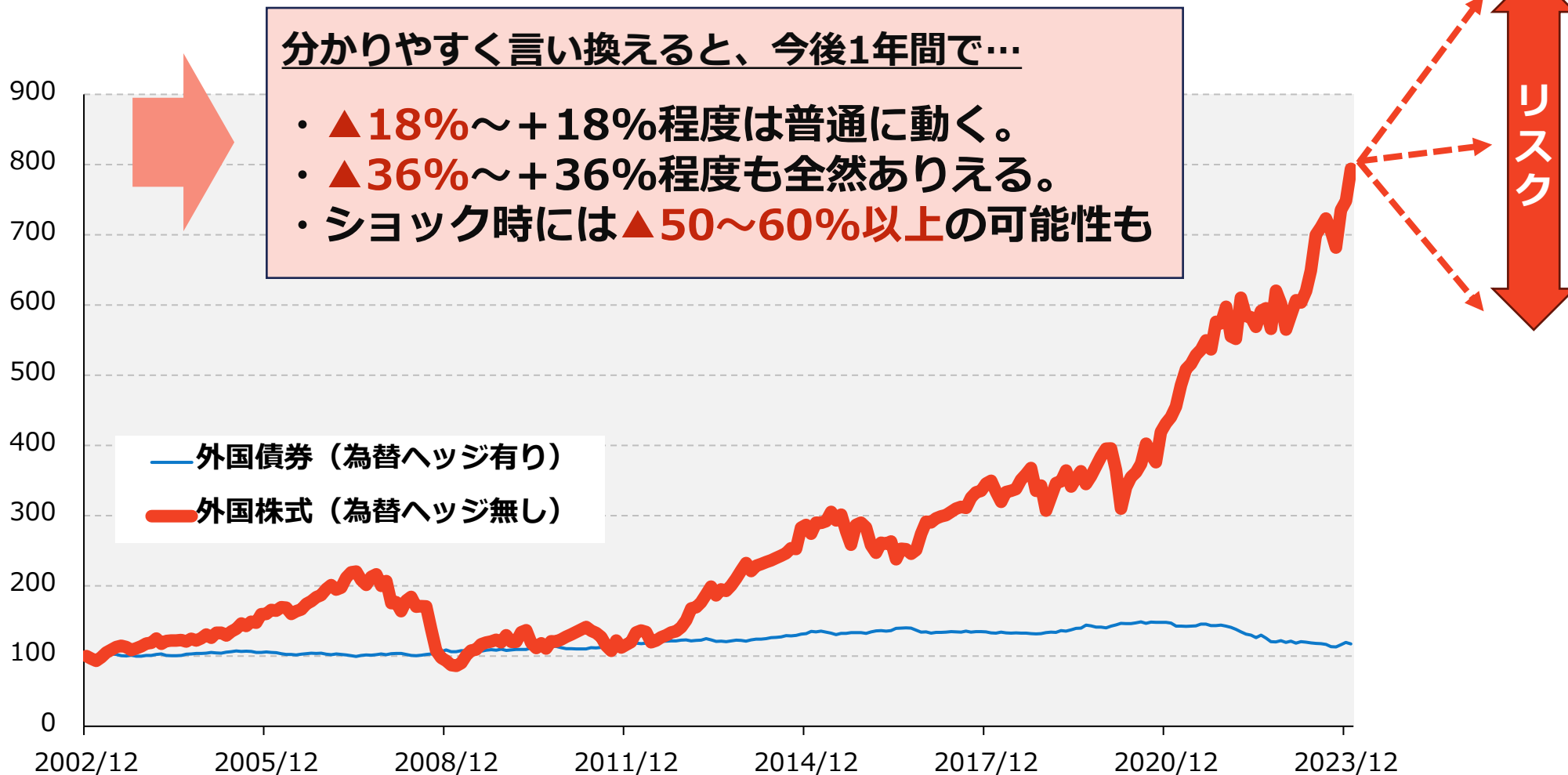
投資する資産クラスによってリスク・リターンは大きく異なります。  
自分の目標金額や投資できる期間に応じて選ぶことがポイントです。

(例) 米国株式の最大下落：-59.9% (2007年5月末～2009年2月末) ⇒ 高値回復まで6年 (2013年5月末)



# 大体のリスク値（値動き幅）の覚え方

外国株式のリスク（標準偏差）：**約18%**

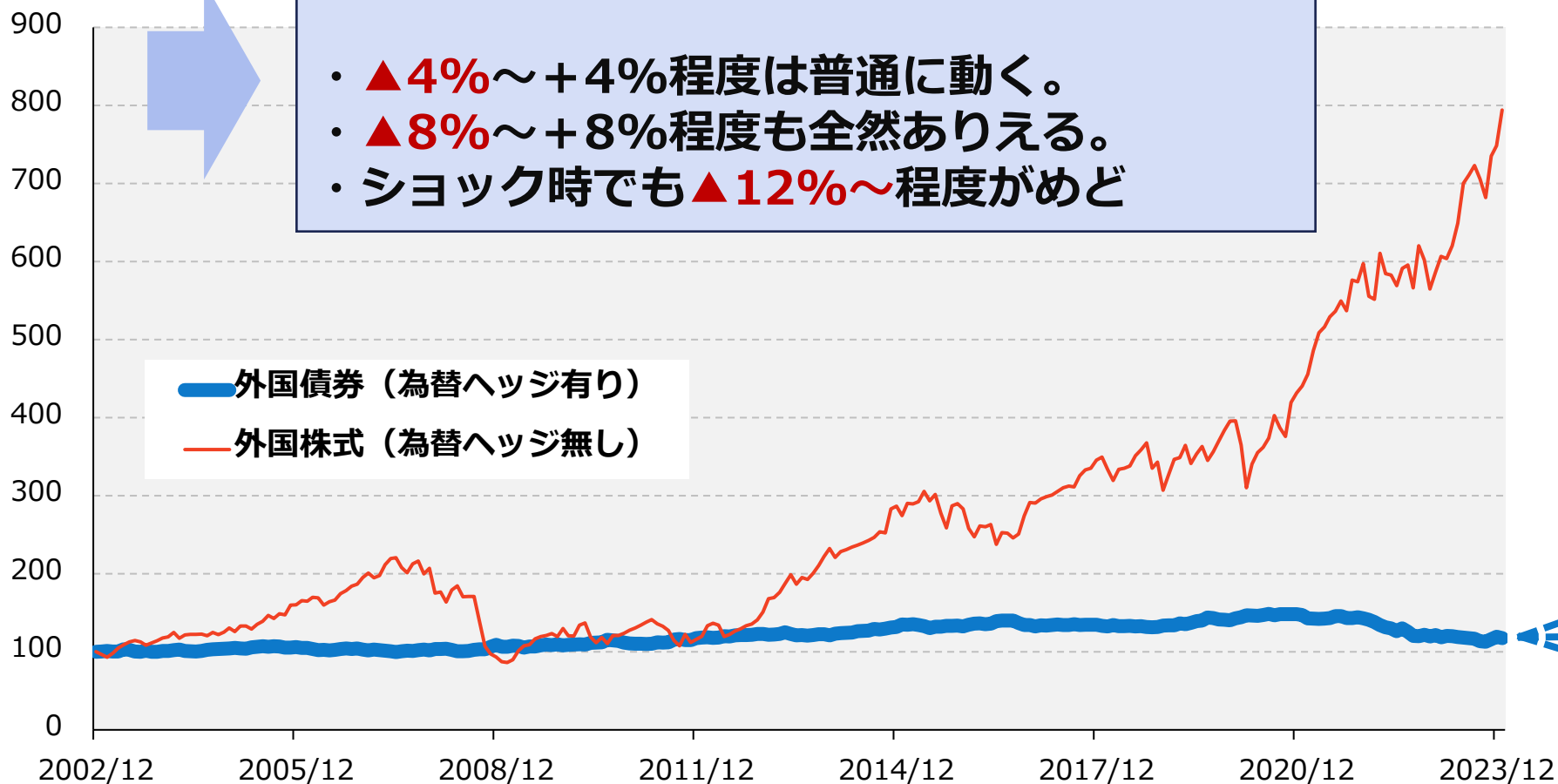


# 大体のリスク値（値動き幅）の覚え方

外国債券（為替ヘッジあり）のリスク（標準偏差）：**約4%**

分かりやすく言い換えると、今後1年間で…

- ・ ▲4%～+4%程度は普通に動く。
- ・ ▲8%～+8%程度も全然ありえる。
- ・ ショック時でも▲12%～程度がめど

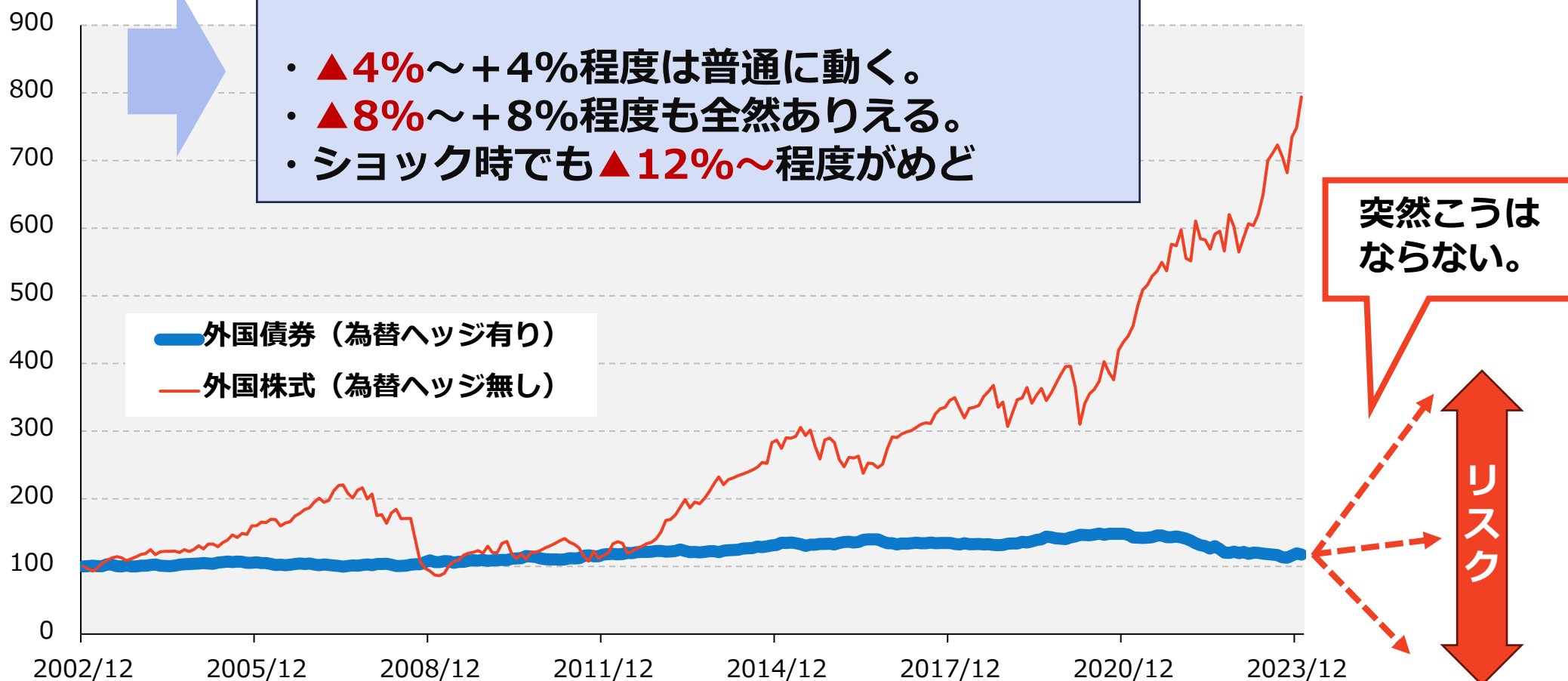


# 大体のリスク値（値動き幅）の覚え方

外国債券（為替ヘッジあり）のリスク（標準偏差）：**約4%**

分かりやすく言い換えると、今後1年間で…

- ・ **▲4%**～+4%程度は普通に動く。
- ・ **▲8%**～+8%程度も全然ありえる。
- ・ ショック時でも **▲12%**～程度がめど



# S&P500 vs オールカンントリー論争について

実際に投資信託を選ぶ際は、値動きの比較やマンスリーレポートなどで構成をチェックしてみましょう。投資信託の値動きは、楽天証券の「投信スーパーサーチ」で比較することができます！

## 投信スーパーサーチの画面

基本情報	運用方針	ファンドスコア	リターン	シャープレシオ・標準偏差	レポート	ランキング
------	------	---------	------	--------------	------	-------

比較リスト(5/5)を確認する

②  
確認して  
比較する

ファンド名 愛称	楽天証券分類	ファンドスコア (3年)	基準価額 前日比率	管理費用	純資産 (億円)	買付 ランキング (全銘柄)	お気に入り	比較
↓↑	↓↑	↓↑	↓↑	↓↑	↓↑	↓↑		
eMAXISslim米国株式 (S&P500)	米国株式-為替ヘッジ無し	★ 5/5	32,052円 +0.56%	0.09372%	52112.56	1👑	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
eMAXISslim全世界株式(オール・カントリー)	先進国・新興国株式(広域)-為替ヘッジ無し	★ 5/5	26,654円 +0.32%	0.05775%	38742.06	2👑	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

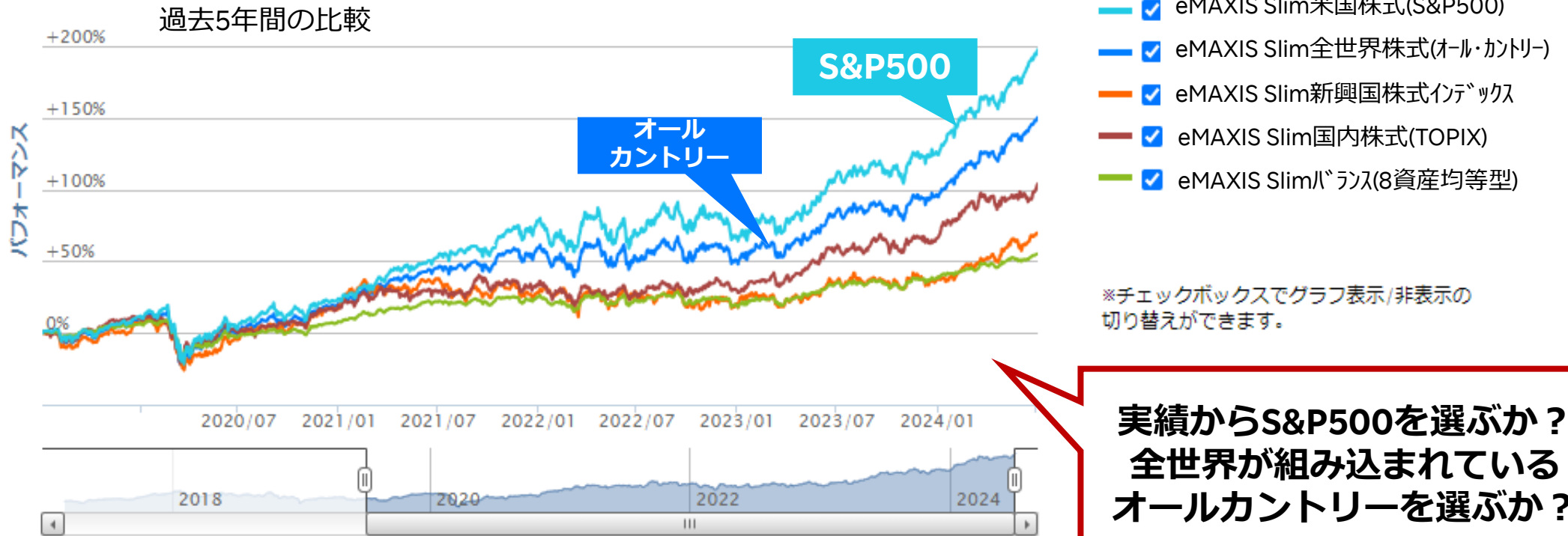
①  
比較に  
チェック



# S&P500 vs オールカンントリー論争について

実際に投資信託を選ぶ際は、値動きの比較やマンスリーレポートなどで構成をチェックしてみましょう。投資信託の値動きは、楽天証券の「投信スーパーサーチ」で比較することができます！

## 投信スーパーサーチの画面



※比較チャートは、選択した表示期間の初日を0%として表示します。

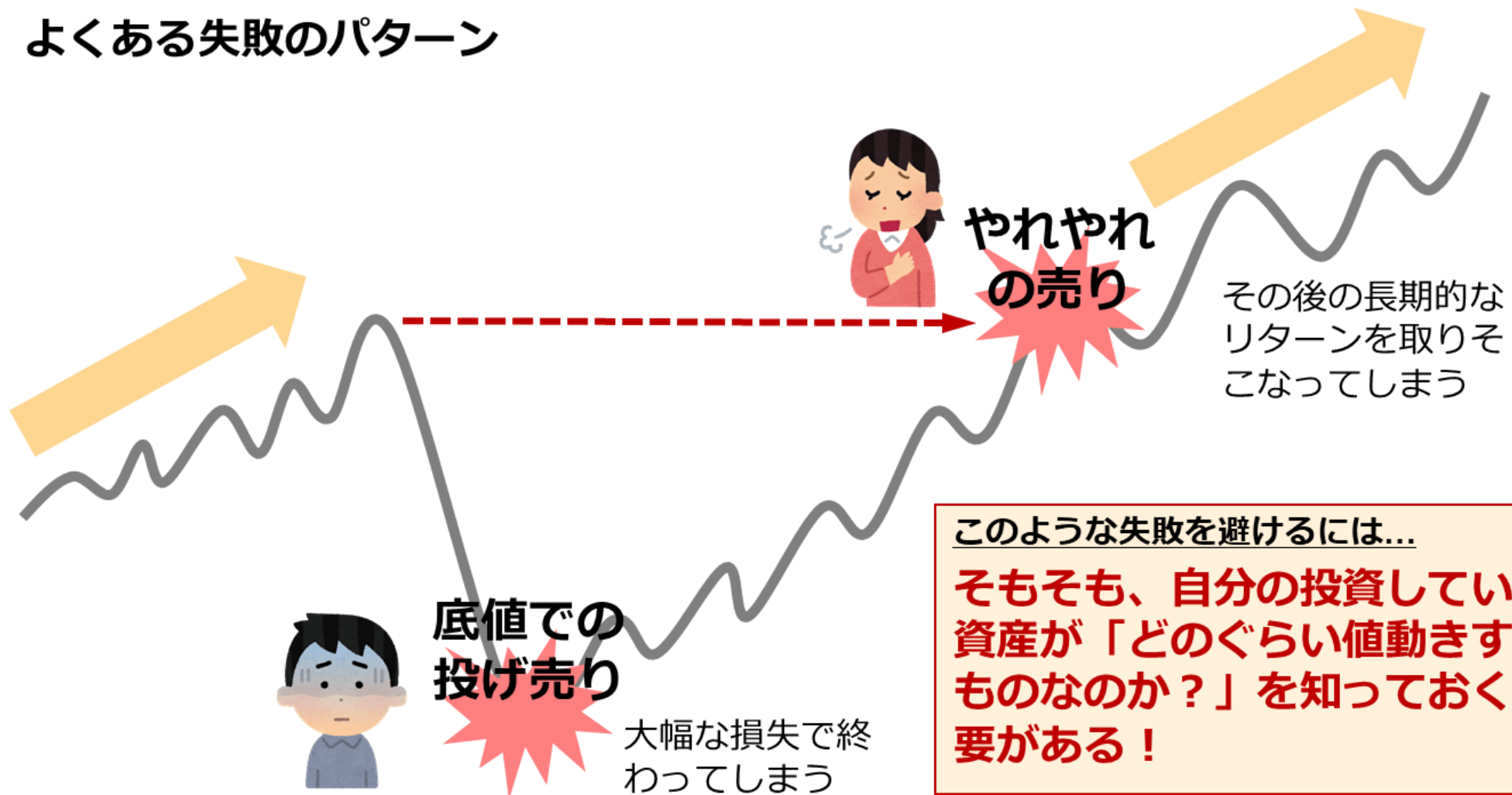
※トータルリターンチャートは、再投資された分配金を含む基準価額を指数化して表示しております。

※チャート下部の期間指定部分の背景は、運用期間が最も長い投資信託のトータルリターンを描画しています。

投資で  
失敗しないために

# なぜ資産形成で失敗してしまうのでしょうか

よくある失敗のパターン



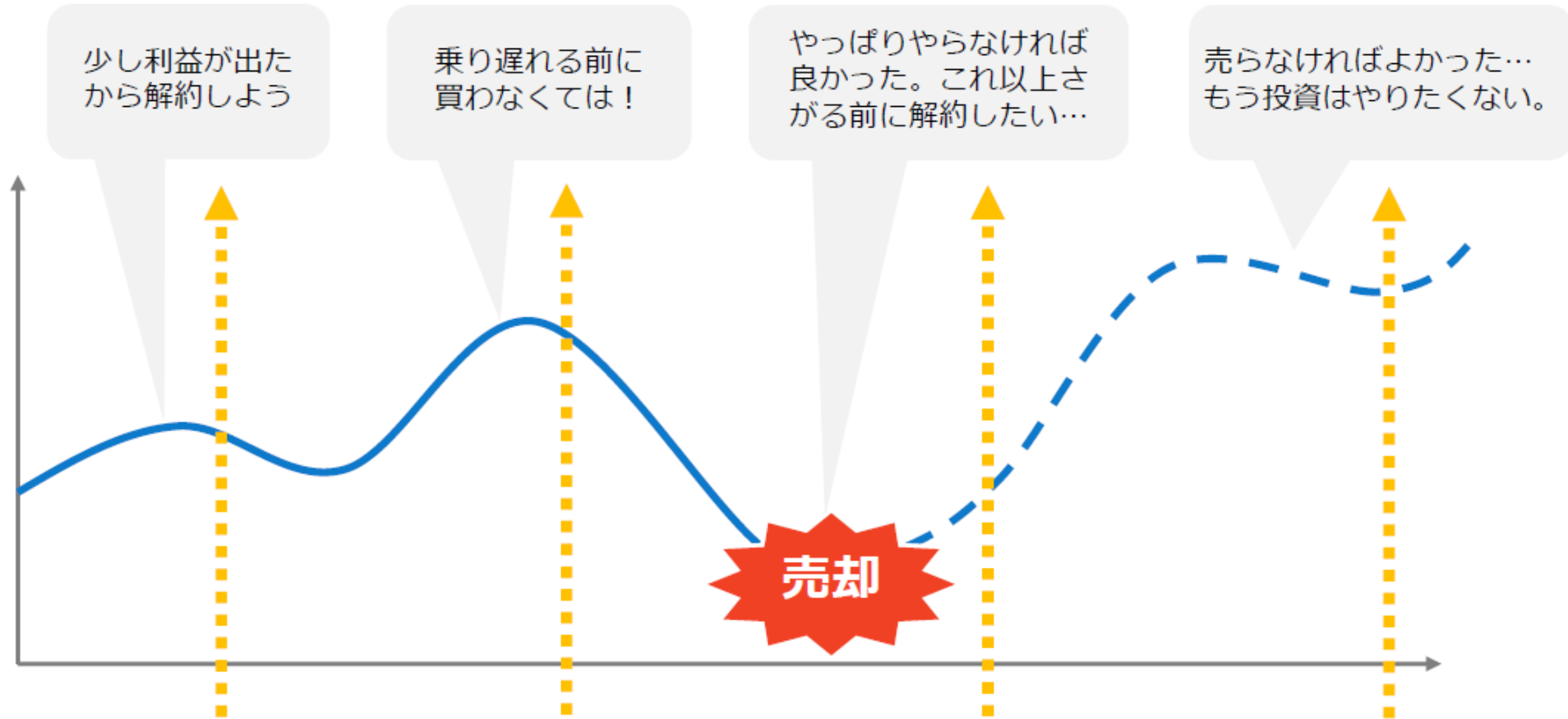
このような失敗を避けるには...

そもそも、自分の投資している  
資産が「どのくらい値動きする  
ものなのか？」を知っておく必  
要がある！

# 失敗を防ぐための対処法

- 一、人間の行動には  
心理的なバイアスがあることを理解する
- 二、相場変動はつきもの。  
あらかじめ値動きを想定しておく
- 三、心がぶれそうになったときに  
立ち返る「目標」を持っておく

# ①人間の行動には心理的なバイアスがあることを理解する



■ **現在志向バイアス**  
未来の利益よりも目先の利益を優先してしまう心理

■ **ハーディング効果**  
多くの人を選んでいいる = 良いものと考え、群れる心理

■ **損失回避性**  
得られそうな利益よりも損失回避を優先する心理

■ **現状維持バイアス**  
現状が不満がでも、将来の不確実性より現状を選んでしまう心理

## ②相場変動はつきもの。あらかじめ値動きを想定しておく

知らないと…

なぜこんなに下がってる？

これ以上下がる前にやめるべき？

今のうちに利確した方がいい？



知ってれば…

この程度の値下がり  
は想定内。

目標のために長期で  
続けよう。

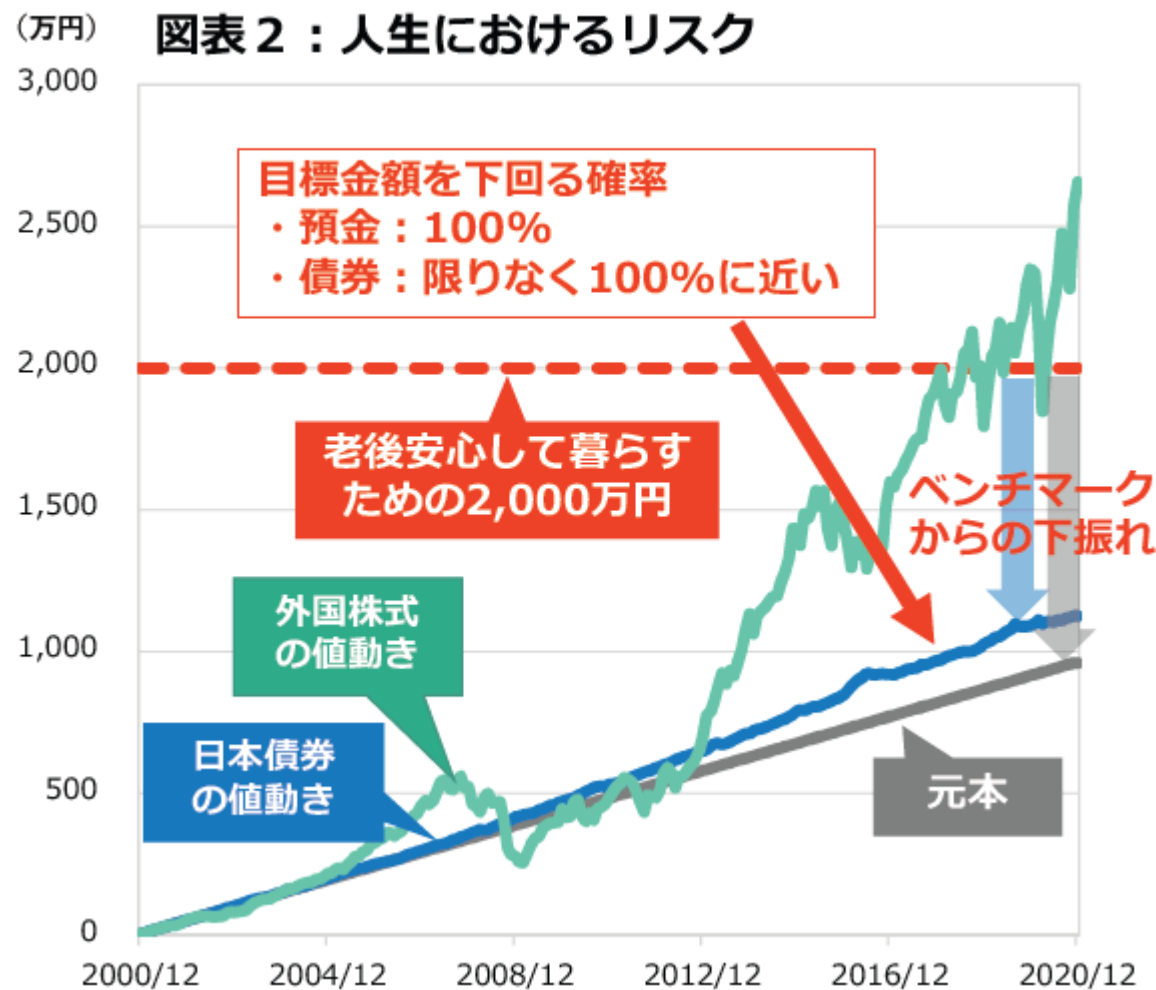
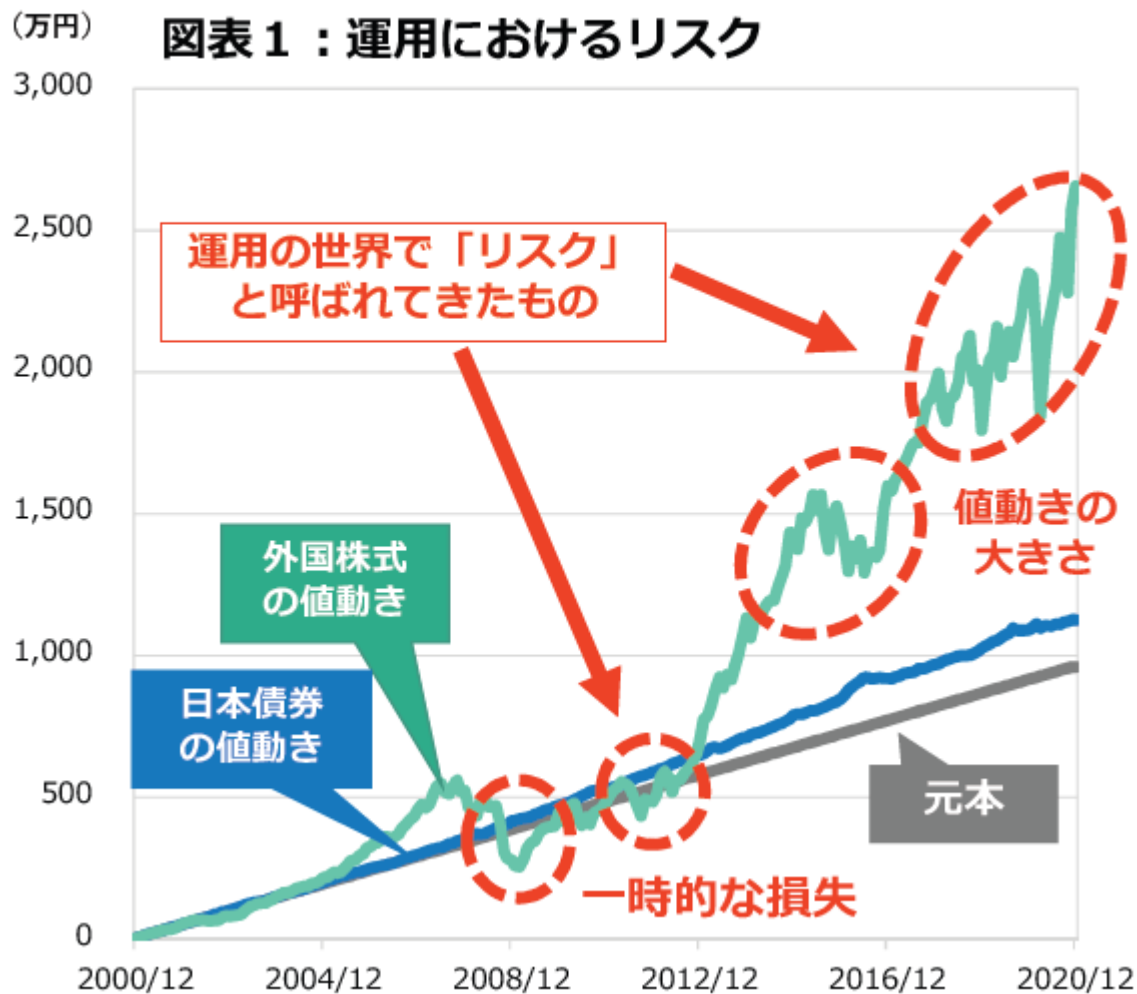
このくらい上がることも  
あるよね



「損したところでやめてしまう」「少しの利益を優先し長期的な利益を取り逃す」などの相場変動時の感情的判断を防ぐことができる！

# ③心がぶれそうになったときに立ち返る「目標」を持っておく

■毎月4万円を20年間積み立てた場合（2000年12月末～2020年12月末）



# 人生におけるリスクを回避するための投資

- 数十年にわたり頑張って積み立てていたのに、豊かな生活が送れないかもしれないこと。
- 資産の取崩しにより、人生の最後に切り詰めた生活を送らなければならないかもしれないこと。
- これらを知らずに過ごしてしまうと、後になってやり直すことができないこと。

⇒人生のリスクをとるか、運用のリスクをとるか



# ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。

# 投資にかかる手数料等およびリスク

## 【投資信託の取引にかかるリスク】

- 主な投資対象が国内株式

組み入れた株式の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。

- 主な投資対象が円建て公社債

金利の変動等による組み入れ債券の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。

- 主な投資対象が株式・一般債にわたっており、かつ、円建て・外貨建ての両方にわたっているもの

組み入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等の影響により基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。

## 【投資信託の取引にかかる費用】

各商品は、銘柄ごとに設定された買付又は換金手数料（最大税込4.40%）およびファンドの管理費用（含む信託報酬）等の諸経費をご負担いただく場合があります。また、一部の投資信託には、原則として換金できない期間（クローズド期間）が設けられている場合があります。

- お買付時にお客様に直接ご負担いただく主な費用

「買付手数料」：ファンドによって異なります。

- 保有期間中に間接的にご負担いただく主な費用

「ファンドの管理費用（含む信託報酬）」：ファンドによって異なります。

- ご換金時にお客様に直接ご負担いただく主な費用

「信託財産留保額」「換金手数料」：ファンドによって異なります。

買付・換金手数料、ファンドの管理費用（含む信託報酬）、信託財産留保額以外にお客様にご負担いただく「その他の費用・手数料等」には、信託財産にかかる監査報酬、信託財産にかかる租税、信託事務の処理に関する諸費用、組入有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息等がありますが、詳細につきましては「目論見書」で必ずご確認くださいませますようお願いいたします。

また、「その他の費用・手数料等」については、資産規模や運用状況によって変動したり、保有期間によって異なったりしますので、事前に料率や上限額を表示することはできません。

各商品のお取引にあたっては、当該商品の目論見書、契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解いただくよう、お願いいたします。

# 投資にかかる手数料等およびリスク

## 【投資信託に関する情報提供について】

- ・ 楽天証券株式会社がウェブページ上で掲載している投資信託関連ページは、お取引の参考となる情報の提供を目的として作成したものであり、投資勧誘や特定銘柄への投資を推奨するものではありません。
- ・ 各投資信託関連ページに掲載している投資信託は、お客様の投資目的、リスク許容度に必ずしも合致するものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・ 各投資信託関連ページで提供している個別投資信託の運用実績その他の情報は、当該投資信託の今後の運用成果を予想または示唆するものではなく、また、将来の運用成果をお約束するものでもありません。

## （楽天証券分類およびファンドスコアについて）

- ・ 楽天証券ファンドスコアは、「運用実績」を一定の算出基準に基づき定量的に計算したもので今後の運用成果を予想または示唆するものではなく、将来の運用成果をお約束するものでもありません。最終的な投資判断は、運用コスト、残高の規模、資金流入額、運用プロセス、運用体制等を考慮し、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。

## ・ 情報提供：株式会社QUICK

各投資信託関連ページに掲載している情報（以下「本情報」という）に関する知的財産権は、楽天証券株式会社、株式会社QUICKまたは同社の情報提供元（以上三社を合わせて「情報提供元」という）に帰属します。本情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではなく、これらの情報によって生じた損害について、情報提供元は原因の如何を問わず一切の責任を負いません。本情報の内容については、蓄積・編集加工・二次加工を禁じます。また、予告なしに変更を行うことがあります。

商号等：楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

確定拠出年金運営機関 登録番号774

**Rakuten 楽天証券**